



～平成 30 年度大阪府後発医薬品安心使用促進事業～

モデル事業実施期間に

先発より切り替わった「後発医薬品」薬効別実績リスト

(一般名処方の場合も含む)

【門真市薬剤師会 編】

大阪府健康医療部薬務課
令和2年2月作成

平成30年度後発医薬品安心使用促進事業

■ モデル事業の内容



・薬局薬剤師のコミュニケーション向上のための勉強会等
 ・イベント（工場見学等）を活用した啓発



薬剤師の丁寧な説明と服薬状況の確認
 & 医師へフィードバック

【薬剤名：	（先発名）
・患者に説明した内容	
<input type="checkbox"/>	先発と効果が同等であることの説明
<input type="checkbox"/>	国民皆保険制度の維持について説明
<input type="checkbox"/>	支払額の説明
<input type="checkbox"/>	オーソライズドジェネリックであることの説明
<input type="checkbox"/>	錠剤が小さく飲みやすいことの説明
<input type="checkbox"/>	錠剤・シートごとに販売名が記載されていることの説明

■ 効果

地域における後発医薬品の品揃え確認



〈GEに切り替えた症例数〉

130例（約2ヶ月）
 先発に戻した事例 13例



〈GEに切り替えた症例数〉

473例（約3か月）
 先発に戻した事例 3例

～9割を超える患者さんが安心してGEの服用を続ける結果が得られた～

【事業より得られた結果】

- ・ 門真地区では平成30年10月～11月の事業期間で、130人の患者が後発医薬品に切り替え、9割を超える患者が安心して継続すると回答している。
- ☆ 後発医薬品に対し不安をもっている患者に、薬剤師の丁寧な説明がきっかけで、切り替えることにつながる事が検証できた。

【リスト作成の方法】

- ・ このリストは、上記の期間に切り替えた後発医薬品約106種類を効能別に分類した。また、各効能の中でも使用頻度の高い順に並べた。（症例数が10以上となるものを対象とした）
- ・ 変更のきっかけになった患者が納得した理由も併記している。
- ・ 医薬品を視覚でも確認できるように製品写真を載せた。

【まとめ】

- ・ 後発医薬品の使用に踏み切れない患者さんに参考としていただきたい。
- ・ 切り替えやすい効能や、反対に切り替えにくい効能がつかめる。まずは切り替えが進んでいる効能から始めてみる。

〈 目 次 〉

降圧薬	4
外用消炎鎮痛薬	5
高コレステロール血症治療薬	6
胃潰瘍治療薬	7
参考資料 ジェネリックに切り替えられた薬効一覧	8

使用回数が多かったもの（降圧薬）

	GE（先発品）		参考：薬剤師が説明し、 患者が納得した主な理由	備考
1	テルチア配合錠 「DSEP」 (ミコンビ錠)		<ul style="list-style-type: none"> 錠剤の刻印が工夫されている。 オーソライズドジェネリックであるため 支払額が安くなる 	AG
2	テラムロ配合錠 「DSEP」 (ミカムロ錠)		<ul style="list-style-type: none"> オーソライズドジェネリックであるため 支払額が安くなる 	AG
3	イルベサルタン錠 「DSPB」 (イルベタン錠・アバ プロ錠)		<ul style="list-style-type: none"> オーソライズドジェネリックであるため 支払額が安くなる 	AG
4	オルメサルタン OD 錠 「DSEP」 (オルメテック OD 錠)		<ul style="list-style-type: none"> オーソライズドジェネリックであるため 	AG
5	アムロジピン OD 錠 「サワイ」 (アムロジン OD 錠・ ノルバスク OD 錠)		<ul style="list-style-type: none"> メーカーの認知度 効果が先発と同じ 	

注1) 写真は頻用されている規格のものであり、すべての製剤写真を掲載しているわけではありません。

注2) 包装変更により実際の薬剤と異なる場合があります。

使用回数が多かったもの（外用消炎鎮痛薬）

	GE（先発品）		患者が選んだ理由	備考
1	ケトプロフェンテープ「日医工」 （モーラステープ）		<ul style="list-style-type: none"> ・支払額が減るため ・メーカーの認知度がある 	
2	ケトプロフェンパップ「三和」 （モーラスパップ）		<ul style="list-style-type: none"> ・支払額が減るため 	
3	パテルテープ （モーラステープ） ※名称変更（変更後：ケトプロフェンテープ「杏林」）		<ul style="list-style-type: none"> ・支払額が減るため ・他の患者さんも使用している 	
4	ケトプロフェンテープ「杏林」 （モーラステープ）		<ul style="list-style-type: none"> ・支払額が減るため 	

注1) 写真は頻用されている規格のものであり、すべての製剤写真を掲載してはおりません。

注2) 包装変更により実際の薬剤と異なる場合があります。

使用回数が多かったもの（高コレステロール血症治療薬）

	GE（先発品）		患者が選んだ理由	備考
1	ロスバスタチン錠 「DSEP」 (クレストール錠)		<ul style="list-style-type: none"> ・オーソライズドジェネリックであるため ・慢性薬は年間支払額が減る 	AG
2	フェノフィブラート錠 「武田テバ」 (トライコア錠・リピデ イル錠)		<ul style="list-style-type: none"> ・先発と効果が同等であるため ・慢性薬は年間支払額が減る 	
3	プラバスタチン Na 錠 「トーワ」 (リピトール錠)		<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーの認知度 ・慢性薬は年間支払額が減る 	

注1) 写真は頻用されている規格のものであり、すべての製剤写真を掲載していません。

注2) 包装変更により実際の薬剤と異なる場合があります。

使用回数が多かったもの（胃潰瘍治療薬）

	GE（先発品）		患者が選んだ理由	備考
1	ランソプラゾール OD 錠 「武田テバ」 (タケプロン OD 錠)		・オーソライズドジェネリックであるため	AG
2	ラベプラゾール Na 錠 「日医工」 (パリエット錠)		・先発と効果が同等であるため	
3	ファモチジン錠「サワイ」 (ガスター錠)		・先発と効果が同等であるため	

注3) 写真は頻用されている規格のものであり、すべての製剤写真を掲載してはおりません。

注4) 包装変更により実際の薬剤と異なる場合があります。

(参考資料) ジェネリックに切り替えられた薬効一覧

薬効別順位 (門真)	
行ラベル	データの個数 / 患者
降圧薬	38
消炎鎮痛薬	17
高コレステロール血症治療薬	15
胃潰瘍治療薬	13
高リン血症治療剤	7
糖尿病治療薬	6
抗アレルギー薬	6
血行促進・皮膚保湿剤	6
ステロイド外用剤	5
抗不安薬	5
去痰薬	3
緑内障・高眼圧症治療剤	3
胃粘膜保護薬	3
抗不整脈薬	3
消化管運動改善薬	3
β ブロッカー	2
骨粗鬆症治療薬	2
代謝賦活剤・抗めまい剤	2
高尿酸血症治療薬	2
抗めまい薬	2
硝酸薬	2
前立腺肥大症治療薬	2
EPA 製剤	1
抗真菌薬	1
筋弛緩薬	1
精神疾患用薬	1
睡眠導入剤	1

制吐剤	1
アルツハイマー型認知症治療薬	1
皮膚保湿剤	1
肝・胆・消化機能改善剤	1
含嗽薬	1
複合感冒薬	1
痔疾用剤	1
喘息治療薬	1
頻尿治療薬	1
抗血小板薬	1
高アンモニア血症治療薬	1
利尿薬	1
経口蛋白分解酵素阻害剤	1
総計	165